

平成 26 年度秋田大学評価センターFD・SD ワークショップを開催しました。

秋田大学評価センターは 2014 年 12 月 19 日（金）に「内部質保証力を高める ー多角的な視点から問題と解決策を考えるー」をテーマとした FD・SD ワークショップを開催しました。本企画では、教職協働のグループを 3 つ構成し、現在の秋田大学の教育の問題点と改善策を、グループ間のネゴシエーションによる合意形成活動を通じて考えました。

具体的には、まず、参加者の問題意識が高かった「秋田地域で活躍できる人材を育成する」という共通課題を設定し、そのための教育の改善策をそれぞれのグループで出しました。その後、3 つのグループ間で、提案や質疑応答を行い、どちらの相手グループの考えを取り入れると自グループの改善策を高められるかを基準に合意点を探りました。最終的に、グループ内でよりよい改善策を練り上げ、歩み寄れる相手グループに合意提案を発表しました。

参加した教職員に対する終了後アンケートでは、4 段階評定の平均値で「本ワークショップに関心を持てた」が 3.73 でした。また、「自グループのメンバーの考えを聞くことで理解が深まった」でも 3.73, 「他グループの考えを理解することで視野が広がった」では 3.80 という結果が得られるなど、参加者たちの活動は有意義に展開されました。さらに、自由記述でも「一見考え方が違うようでも、目的が同じであれば、ネゴシエーションを重ねることで更に良い考えにまとめることが出来る」といった、ネゴシエーションの手法の有効性への声も聞かれるなど、本ワークショップは盛況のうちに終了しました。



グループ内での改善策の検討



グループ間でのネゴシエーション①



グループ間でのネゴシエーション②



相手グループへの合意提案の発表